

# 廣讚寺

ジャーナル

第73号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL (052) 411-5301

FAX (052) 411-5341

携帯 090-1568-4623

〈E-mail〉

matsuoka@kosanji.or.jp

親鸞聖人が9歳の時に詠まれた歌といわれています。

明日有りと

想う心の

仇桜

夜半に嵐の

吹かぬものかは

このジャーナルが届く頃にはもう桜が散っているかもしれません、なかなか桜を見ながらこんな心境にはなれません。しかし、来年の桜が咲く頃はどうかどうなっているだろうかと漠然とした不安があります。



# 廣讚寺を支えた女人講

伊藤和美

中世ごろから始まった「講」。戦国時代には組織強化された。例えば加賀の一向一揆などは浄土真宗の「講」の組織によって行われた。

稲葉地に残るお講組もそこから伝わり残っている。

しかし皆さんもご存じだと思うが、稲葉地のお講組は

壊滅的状态である。ここ

十年でバタバタと解散

していき、今では一

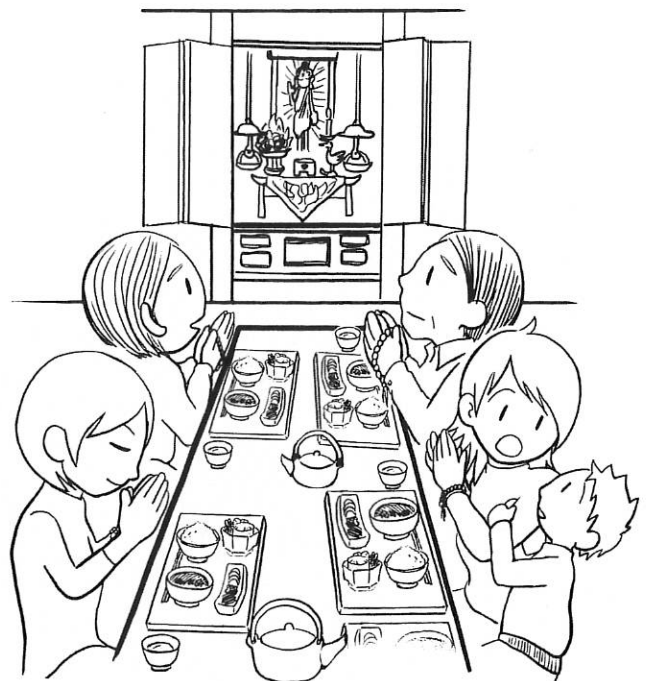
つあるかどうか、と

いった具合である。

しかし、廣讚寺の

女人講は講員がさほ

ど減ることなく何と



か維持している。廣寺行事のおとき作りは今でも女

人講の役目として残っている。

何とか親鸞聖人の教えを後世に残していかななくては

いけない。

今こそ法難の時代なり。

# 人生、旬あり、樂あり

友の逝き

幼き想い 残る雪

駈<sup>か</sup>けし山河は 春浅し

釋輝雲

立ち止まり、空を見あげれば、雲はおどり北の空へ。  
川は笑いながら流れてく。刻は、休むことなく未知  
の世界へと流れてゆく。

誰も止めることはできない。来る明日が不安だから、  
人は今日を精いっぱい生きるのだろう。

私は今日もまた、お内仏に手を合わせる。今、生き  
る、この生命に感謝して。

## お知らせ

廣讚寺は名古屋教区二十組に所属しております。そ  
して寺西税さんが廣讚寺として二十組での役目を果た  
していただいております。

しかし、昨年一月にお亡くなりになり、私がやるよ  
うになりました。

今年度からご命日のつどいや、門徒会などの担当の  
一人に私になりました。別院や組内寺院へ打ち合わせ  
などに行く機会が増えます。

そして今、実感しております。本当によく寺西さん  
は二十組や別院、本山のために尽力をされていたのだ  
と。とても私にはあそこまできませんがやらねばな  
らない環境です。何卒、ご理解、ご協力をお願いいた  
します。

松岡貴志

《行事予定》：四月

四月五日(土) 二時 常任委員会

十二日(土) 七時半 同朋委員会・例会  
(役員は六時半)

十九日(土) 二時～四時 学習会

二十日(日) 同朋会旅行  
(滋賀県真宗木辺派本山錦織寺)

二十八日(月) 十時 おみがき

二十八日講・総会

《行事予定》：五月

五月五日(月) 復興永代経執行

五月十日(土) 七時半 同朋委員会・例会  
(役員は七時)

十九日(月) 二時～四時 学習会

二十八日(水) 十時 二十八日講・女人講

復興永代経執行

十時 おつとめ おとき

説教

(午前)

熱田区 道誠寺

市野智行師



「同朋大学で真宗学を研究しています。その学びを廣讚寺の皆様と共に深めていけたらと思っています」

(午後)

西区 養照寺

一柳智史師



「大谷高校で真宗学の教諭をしており、ます。親鸞聖人の教えの基本をお話したいと思っています。そして、現代の若者が何を考え何に悩んでいるのか、私なりに感じたことをお伝えします」

※午後は特別プログラムとして有志による詩吟・民謡・舞踊など廣讚寺座による演劇もあります